

詩の行列 4年生



編集 日本児童詩教育研究所

詩の行列

し ぎょう れ つ

4年生



日本児童詩教育研究所

詩 の 行 列・4 年 生

監 修 弥 吉 菅 一 大阪教育大学教授
松 本 利 昭 日本児童詩教育研究所所長

編 集 宮 永 勝 東京都台東区立千束小学校教諭
川 津 皓 二 茨城県土浦市立土浦第二中学校教諭
日本児童詩教育研究所

詩 の 行 列・4年生

編集 日本児童詩教育研究所
東京 少年写真新聞社・1971
126P 23cm
1詩, 1

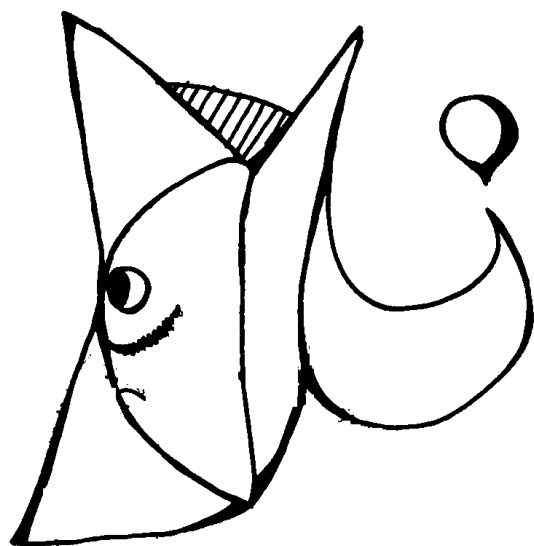
基本カード記載例

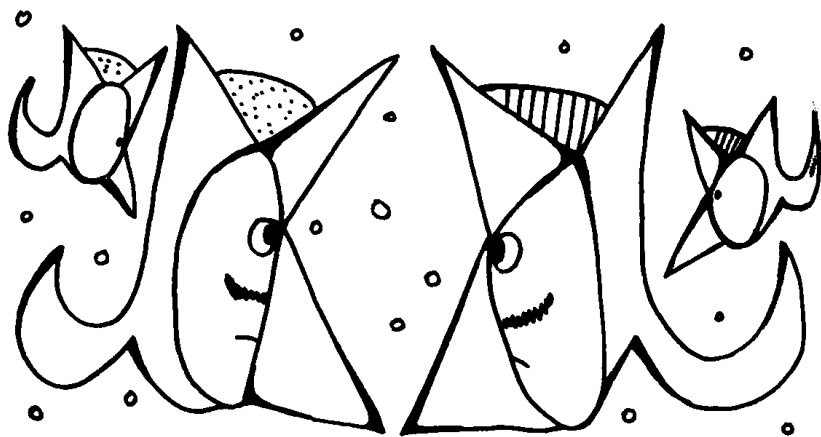
詩 の 行 列・4 年 生

一九七一年四月十日 発行

編 集 日本児童詩教育研究所
発行者 松 本 博
発行所 株式会社少年写真新聞社
東京都千代田区麹町三十三
東京都千代田区飯田橋二丁目十四
電話一六、二七、五・振替東京一四三三
仙台市二丁目一七一二一
電話一三一三〇六六・振替 仙台 五四八〇
富山市新富町一一三十四
電話三三、八四四〇・振替 金沢 四九五八
名古屋市瑞穂区牛巻町八一九
電話八八二四二五・振替名古屋一〇五〇四
大阪市北区伊勢町三五
電話三六四六八四・五・振替大阪一七九七二
広島市の場町一の二
電話六一三四六七・振替 広島 六九五
福岡市東浜町一ノ一
電話六四二七〇三・振替 福岡 一六七〇一

詩の行列・4年生・もくじ





詩の行列・4年生・もくじ

はじめに

ジャンプ・ラックの花

ジャンプ・ラックの花

こんぺいとうの花

こうのとりの車

~~じどうしゃ~~

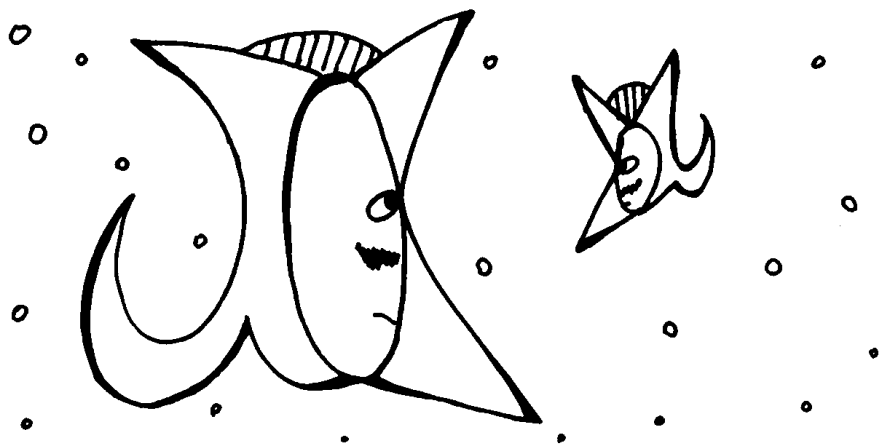
うちゅうの時計

犬のはね

おび

花虫

26 24 22 20 18 16 12 7



花虫

とびらの糸

きりん

れんこん

雨つぶ

時計——東京

うでのこうそくどうろ

私の体

わたしはライオン

人くいボール

うでのこうそくどうろ

50 48 44 40 38 36 34 32 30 28



女の月

ぼくは100人で99人死ぬ

女の月

ぼくのきんたま

女

やってみたいな

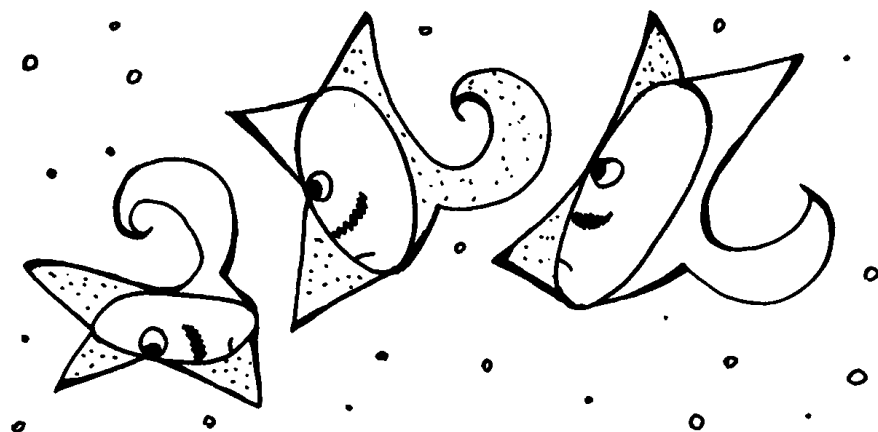
よるふうふ

しゃっくり

マーガレットの虹

マーガレットの虹

影の穴



黒い氷河

わの中の病気

さよなら

あおれら

きりにかこまれたスポンジ

きりにかこまれたスポンジ

二人の目

血でよごれる浜べ

とりついたうろこ

東京タワーのとげ

千人の国

100

96

94

90

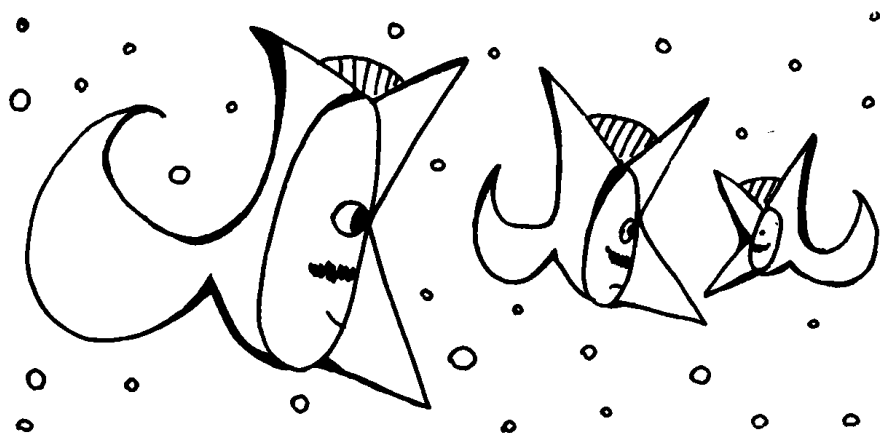
86

82

80

78

76



ブランコの旅

てごわいてき

東京タワーのとげ

地面の顔

国色の家

四年生の詩の見かた

あとがき

付・資料

こどもの絵をもとにしたイラスト

入江由紀子

125

124

120

116

112

108

104

103

はじめに

あなたが、いま手にしたこの「詩の行列」^{ぎょうれつ}は、全国の四年生のおともだちがつくった詩をあつめた本です。

この本のなかに行列している詩をつくったおともだちは、詩をつくる時、みんな自分かつてに、すきなことをすきなように考えてつくったのです。どのおともだちも想像力をうんとはたらかせて、みんなが気づかないことを見つけだし、つかみだしてきてかいています。

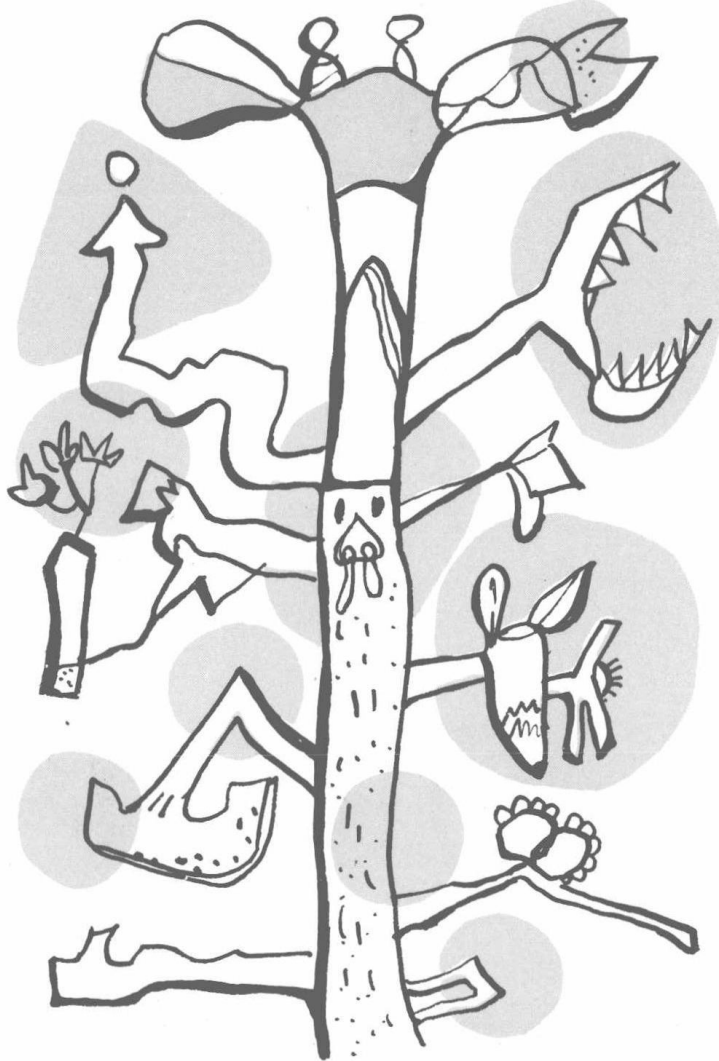
さあ、きらくなきもちで、詩の行列を、ゆっくりあじわいながら、作者があらわした、あたらしいかんじを、つかみとってみましょう。

詩
の
行
列

4
年
生



ジャンプラックの花



ジャンプラックの花

三小田 松美

ジャンプラックの花が

いん石の

光をぬき出そうとする時、

小さな

小さな

心の中の

ブルーの光を



ふき出そうとする時

ジャンプラックの花は、

かわいい

名前を消す

美しく

ちりばめた

まばゆいばかりの

しんじゅの

葉っぱをおとす

ツーンと

せいっぱいのびた



まっ 白い

くびは

小さな、小さな

ブルーのリズムに

マッサージされ

うすくれないの炎を

はく

炎は、

真赤な

ふるさとのかおりを

ふりまきながら

